

1 人口

社会的課題

- ▶ 人口減少、少子高齢化の進展に伴う、これまでにない超高齢社会への対応。

各務原市における課題

- ▶ 市街化区域のうち、市北部の住宅団地等では、人口減少と高齢化が顕著。
- ▶ 市街化調整区域における、既存集落・コミュニティの維持。
- ▶ 市街化調整区域の鉄道駅周辺は、交通の利便性が良く、店舗施設等の開発のニーズが高いため、良好な住環境を確保しつつ、有効な土地利用を図るための検討が必要。

2 産業

社会的課題

- ▶ 生産年齢人口減少に伴う担い手不足への対応。
- ▶ 「製造業」「宿泊業、飲食サービス業」「医療、福祉」などで労働力需要が増加する一方で供給不足が顕著。

各務原市における課題

- ▶ 新たな産業用地を確保するための一団の未利用地が無い。
- ▶ 県下 No.1 の製造品出荷額を誇るにふさわしい、更なる工業用地の確保。

3 土地利用・交通

社会的課題

- ▶ 居住を公共交通沿線や生活拠点に誘導し、市民生活の利便性向上を図るコンパクト・プラス・ネットワークのまちづくりが必要。
- ▶ 行政や医療・福祉などの生活基盤を維持し効率的に提供するため、各種機能の集約化と公共交通による地域間のネットワーク化が必要。
- ▶ 選択と集中による持続可能な都市経営が必要。

各務原市における課題

- ▶ 市の東の玄関口である新鵜沼駅・鵜沼駅周辺では、有効な土地利用（高度利用）がされていない。
- ▶ 都市計画道路（（仮称）新愛岐大橋・岐阜鵜沼線等）の整備を見据えた沿線の有効な土地利用の検討。

4 安全安心

社会的課題

- ▶ 水災害や地震リスクに対応するため、防災・減災を考慮したまちづくりが必要。

各務原市における課題

- ▶ 市北部には土砂災害(特別)警戒区域が広がり、市南部の川島・稲羽地区には浸水想定区域が広がっている。
- ▶ 防災上危険が想定される地域には、市民の約 26%が居住している。

5 都市の持続的発展

社会的課題

- ▶ 再生可能エネルギーや省エネ技術などを活用した持続可能なまちづくりが必要。
- ▶ 公共施設の集約化・複合化を計画的に進め、財政負担の軽減・平準化が必要。
- ▶ 持続可能な開発目標（SDGs）の実現に向け、国の動きと連携して持続可能なまちづくりが必要。

各務原市における課題

- ▶ 高齢化等に伴う今後の財政の見通しを踏まえた、公共施設等の効率的な長寿命化や維持管理等を継続的に実施する一方で、廃止や統合等の検討も必要。